、十二日夜戦においてわが艦隊は敵巡洋艦三隻を撃沈し、

十四日夜戦においてわが艦隊は敵戦艦一隻を撃沈し、

戦艦一隻を大破(沈

驅逐艦三隻を中破

巡洋艦 三隻、驅逐艦 三隻 乃至四隻、輸送船三隻

艦隊司令部

て三艦を屠る

二隻巡洋艦 十一隻、驅逐艦三隻乃至四隻

さらに左の戦果を收めありしこご判明せり

本管設長【ニナ八日午後六時四十五分】その後の詳報によれば第三次ソロモン海戦にお

重光大使歸任の途へ

大與の好機と勇奮止めをさす

ソロモン海戦綜合戦果

一四隻に達す

第三次記海戰の教訓

文松堂版

夫 譯

描いて感銘深しなる科學者

て興味な場合とし

数・女件知識く正しい胸の

(店舗図金)京東智振 房書川奥 町路・田神・京本の あ に 七五六三 房書川奥 地番―十日丁―

ての母始め日本の母聖戦を勝ち抜く心は を描くを描く

小松郁雄著

銀附冊別 鐵共空 制號月

全產業經濟代表者懇談會問題

鮮満支からも参加

綜合國力の增進策を協議懇談

関係し、一般が珠算による正確な計算を習得できるやう 関係に立ち申世の後、理解に対した。 の思様に立ち申世の後、理解に対して、 の思様に立ち申世の後、理解に対したのではない。 の思様に立ち申世の後、理解に対したのではない。 の思様に立ち申世の後、理解に対したのではない。 の思様に立ち申世の後、理解に対したのではない。 を利用である。 の思様に立ち申世の後、理解に対したのではない。 を利用である。 の思様に立ち申世の後、理解に対したのではない。 を利用である。 の思様に立ち申世の後、理解に対し、 の思様に立ち申世の後、理解に対し、 の思様に立ち申世の後、理解に対し、 の思様に立ち申世の後、理解に対し、 の思様に立ちに対し、 の思様に立ちに対し、 の思様に立ち申世の後、 の思様に立ちに対し、 の思様に対し、 の思述に対し、 のまり、 の思述に対し、 のまり、 の思述に対し、 の思述に対し、 のま述は、 のまが、 の

聖皇時機 館成開京東 剛强湖南京

き時代小説集の総議

文松堂書店 聽蠟透過

合では、丁澄約五萬円を投び 出門面 京線道線北側電車面へ

兄部日水支店長歸任談

大皇即ち神籬

今 泉 定 助

國民は搖がぬ警境

滿洲開拓團の編成へ

明年監察制度を確立 新體制

産金の朝鮮投資額の

肩替問題は不明

海陸運送倉庫も打つて一丸 會社設置を念願

村上朝運社長の入城談

來月から强力な運動を展開

委員會と並行し民間機關設置

電力料金を改正

昭和拾七年拾月六

電を解放す





(戯曲) 北 真升

號月12

研究のは、 のでは、 のでは

顯田島 二二郎

夢の W

で軍務と世務(農) 近代の終焉・歴史の還歸 酒枝義旗·上原專祿板垣與一·大熊信行

の修成 石津照盤 ◆大東亜史の問題 植村清二の課題 岡本清一 ◆歴史家の 立場 林健太郎と近代 顧田定良 ◆現 代 死 生 觀田中 晃と近代 顧田定良 ◆現 代 死 生 觀田中 晃化の二 方向と日本 柳田 謙 十郎

兵制七十周年記念大會に於いて告辭する小磯總督

个腰でかっ

Weeke 開戦敵地の感動

後天した 正な風貌に眼鏡をチラと光らせて

への眞劍勝負

銘記せよ、決然起つたあの日

を盛して婚列する各町聯盟齢が運輸保者中央式域に着席、場を通常を表現して権力を表現した。

街頭の巣物店から

鮮産リンゴ 近く出廻る

臣を編ふ會歸還在外使

きのふ七十周年記念大會

日露の勇士

懐しの煙草・天狗 、兵の日、縁りの柱時計

歪

日の徐生に

0

☆「皇 帝」交響曲 Timが表表祖
ナーリッシュナーベル
・ 神一学エント 指揮管絃電

中集募約豫

奥さま方は みんなど愛用……さんばんを……銃後の防空訓練に

さんほんを……

しかも 無駄なく

衛生的な

學藝會心戰時色

鏡店

眼

【舊セブランス眼鏡部】

電話本局五一二

旭眼鏡店

毛深懸

田村十七年十一旦 | 十五日 | 日本日 |

より事務繼續仕候間此段及離告候也 今般本會事務所を左記へ移轉し十二十分 博 通 知

月日

京城府太平通一丁目六一番地京城府太平通一丁目六一番地下。 京城府觀水町一五九番地(第二查定場)

京畿道價格查定委員會

料 外科商門的

城稅 務 in the second

陸、海相ら出席 帝都の功勞者表彰式

> 大日にかけて行はれた文部省の本【東京電話】去る十月近日から十 高等科教員合格者

城津に鰊景氣四萬園

思明献金 朝鮮

よう内地旅行



熱心な聴衆に感謝 一个こそ、道義朝鮮、確立の秋ー

響を気持なむや難り翻を配置

雕鮮に際し 今泉翁語る

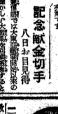
お演株式會社清津工場が強くという。



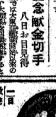














京麻布本村町伊東化學研究所1和十二色(新しい肌色四種) 口紅八色 口紅八色

国語出土村今後曾ケ月ヲ經ルモ緊急申出ナ健除財産対象は受領部)護後維持、占義的党 領 麗 無 劝 公 告

大学 (2017年) 大会社 宣教 后面 (2017年) 大会社 宣教 行人会 大学 (2017年) 大学 (2017年) 大学 (2017年) (四解化學株式會批消算學務所 番大いで表の際は人

親和木材株式會

事務員募集

足の洪水に悲鳴

京電・通勤・通學の時間の變更を陳情

に鷹の

記念日に青訓査閲

龍山署も數々の行事 ひ、同四時盛況神に閉窗した

傷兵招いて

滿洲の繪に威懐

官係に開北ら一般面民を確





では冬に購へて風気になって

生計の全有效 成分にて……

を買って出て、近く一種が連帰

庭を政室に富て職員の家族は勿の結束ルを闘るため、同階長家

北道民献金の誠

北鮮科學博物館の戦争畫完成

等何れも實験を彷彿せしめる立







トンボ返り、で强い子に

兵制七十周年記念日の古八日被将

板垣將軍、沼田氏の個展へ

十八年度の以と細の道の

期日を延期

小林鑛業人事課



身體が温まる



尿泌属皮 病性 原語なり











顔色よくなり





病全治 萬和堂藥

詩山 舎彦 ^{居工編體}

の病

明治町ニメニー町本三三四番

フリント(闘)

生の感激軍服

初着

兵制記念日に

木下氏の

追憶談







磯總督告辭

決意は固し聖戦完遂

奉公の至誠を致せ



時の録

務較育制意よ真確化へ。

取神生家説問の母童使 一行 細軍の





皇送代無分日二樂試★

巴城城と息陽

場息と咳嗽の強防と治療にエフエドリン「ナガキ」は世上既に定許があります。特額的である点に於てエフエドもり、持續的である点に於てエフエドを使いたした向もありましたでせう。 原語時世 長井長磯氏發見創製

· 产业水本。力强 女性ホルモンの缺乏に基く

17000歳 三 д д д

擬口座營東京一六一〇番

東京市神田區鍛冶町二ノ十東京市神田區鍛冶町二ノ十 虚疾 精食尿 夜 心結核性疾患 居 後 進 數 症 患 展 疾 無 服 症 患 患

み 成 要 主 の 剤 本 | 脾 | 肝 | 血 | 臓 | 臓 | 液 主 要 成 分 化學的に不

经 基 等 等 等 中 士 小川信一先生外二十傳士實驗推獎平野 專先生實驗創製

防火 製素學に也

E

为再

町修建區東市阪大 店本 社會式株築製本日大 元造製 町本属標本日市東東 店支

を先頭に堂々の市街戦 寒偏説明 光化門通における分列式(上)ご戦車

慶南の行事

6 7

(番號表中太字八囘別、括弧內八割增等級应金額)

東宝 (は曜日明 學時九朝早 今年度の喜劇映画はこの一 本にノ







衞衞

が所領供物の後は堅く御殿返甲上族が九日午後一時が町着参ざこ於て相挙 藤力宇河 河_木 木武山合 合四 し併て 御通知時 死去致候間 利黑山合 右左秀順善善



すどれていてくなる

(矢野橋村 (繪)

高列東於一所引取鮮朝於晉式林 「日本」 國格高 日本 10 本 日本

(華漢)



25/8 25/74 25/616 26/16 26/16 26/16 28/16 28/16 30/16 30/16 30/16 31/16 34/16 34/16 34/16 35/16 35/16 31292

大地を搖が

空 英 田 62180

割增金

